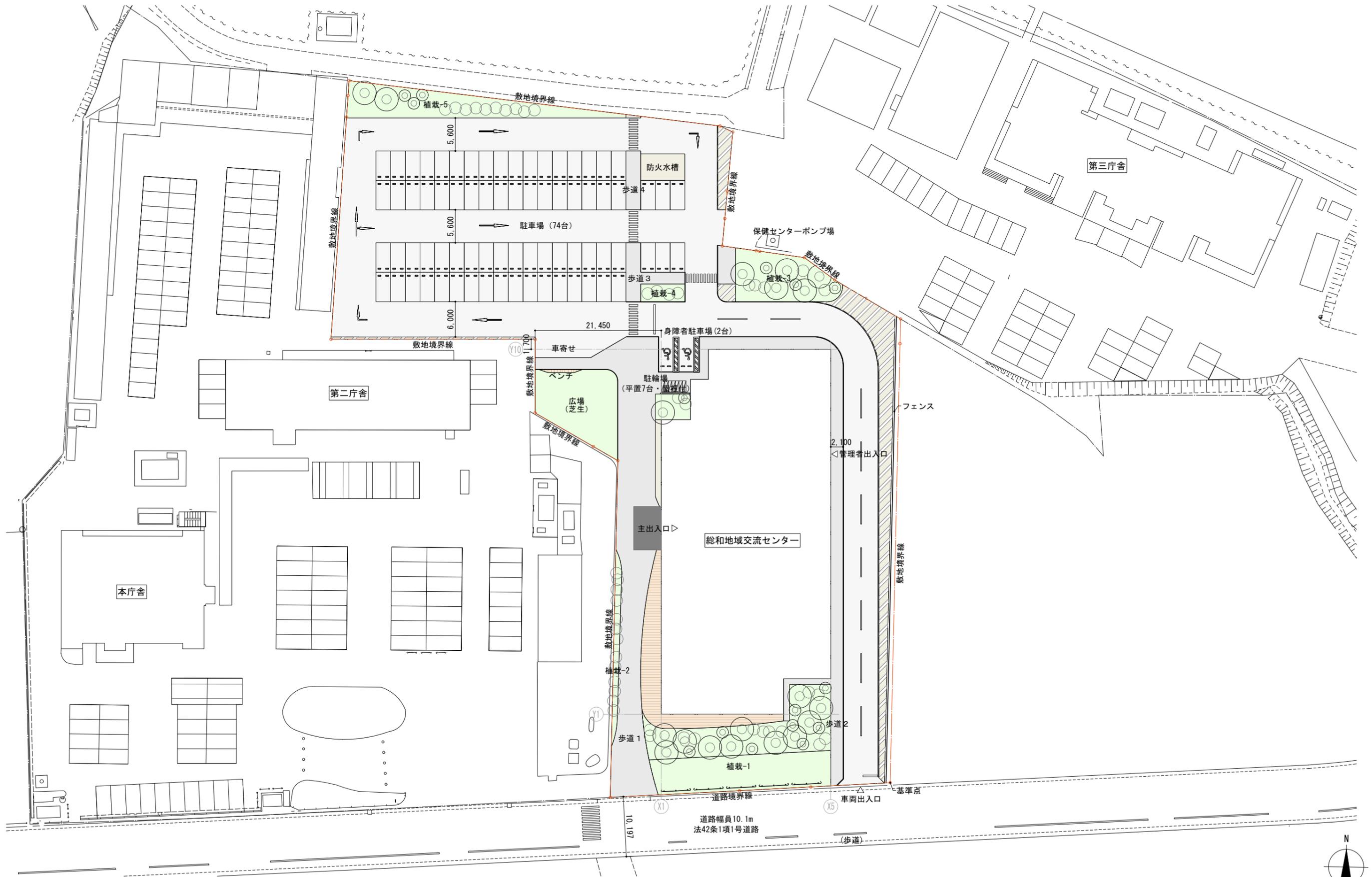


総和地域交流センター基本設計

目次

- (1) 配置図・・・・・・・・ 1
- (2) 各階平面図・・・・ 2～4
- (3) 立面図・・・・・・・・ 5～6
- (4) 外観パース・・・・ 7



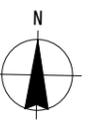
総和地域交流センター基本設計

TITLE

配置図

SCALE

S=1/600 NO

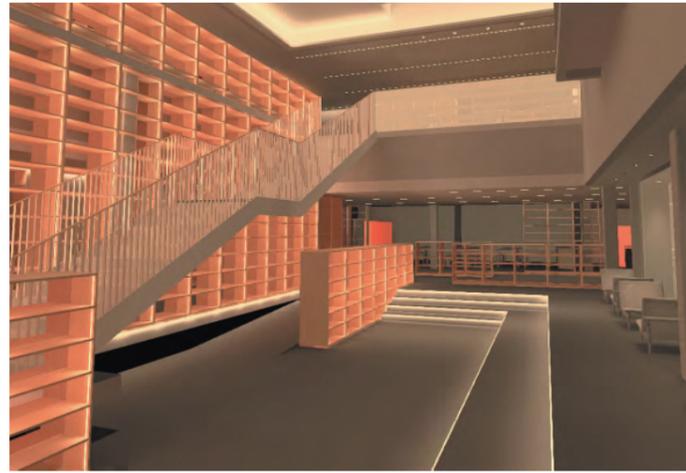


01

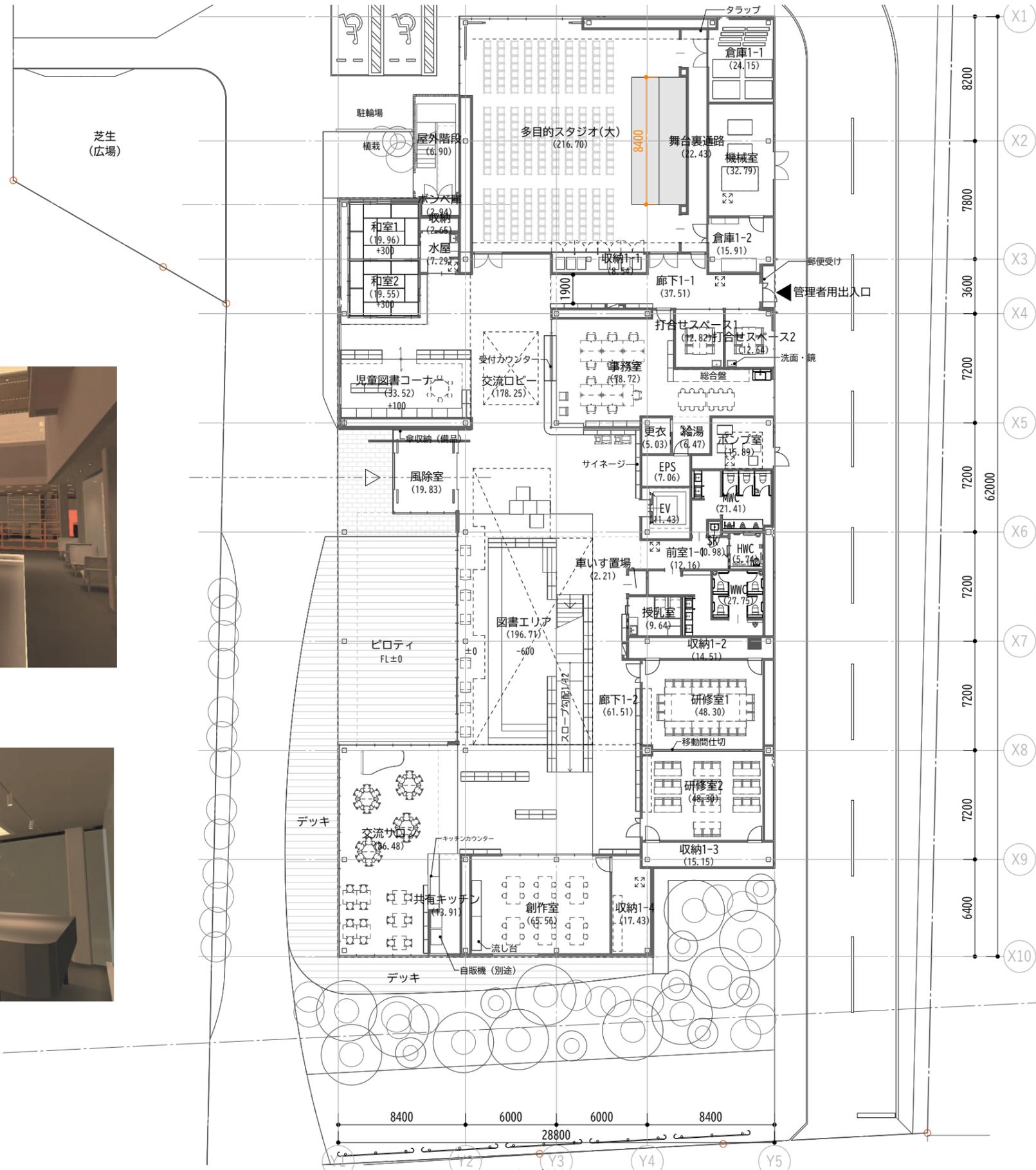
基本設計時の図面であり、実施設計を行うにあたり細部において変更になる場合があります。

□床面積
 1階 1489.6㎡
 2階 1047.7㎡
 合計 2537.3㎡

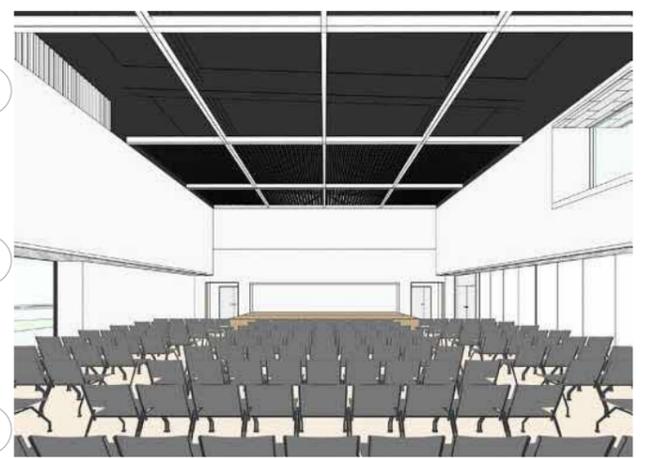
▼図書エリアイメージ



▼交流サロンイメージ



▼多目的スタジオ (大) イメージ

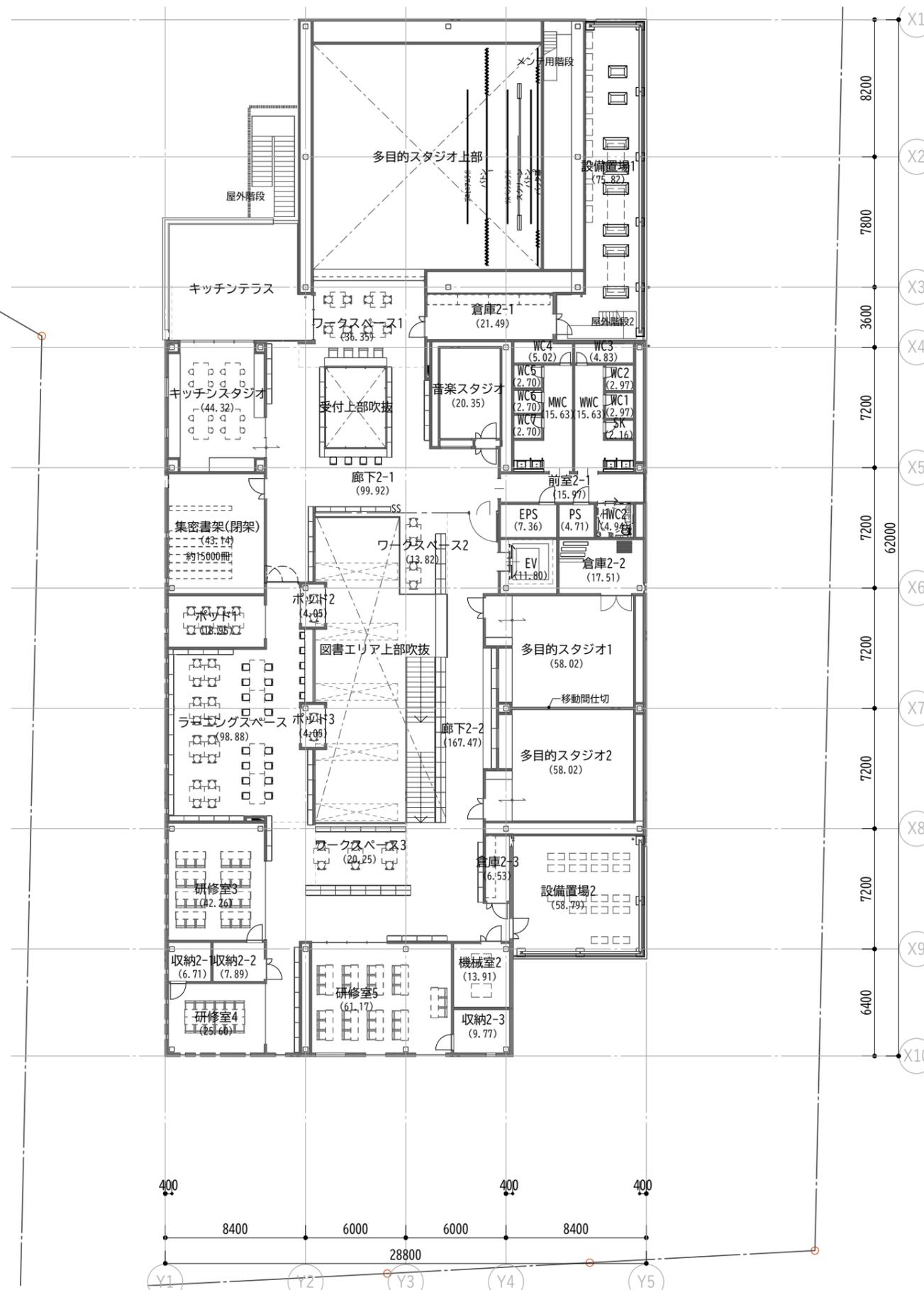


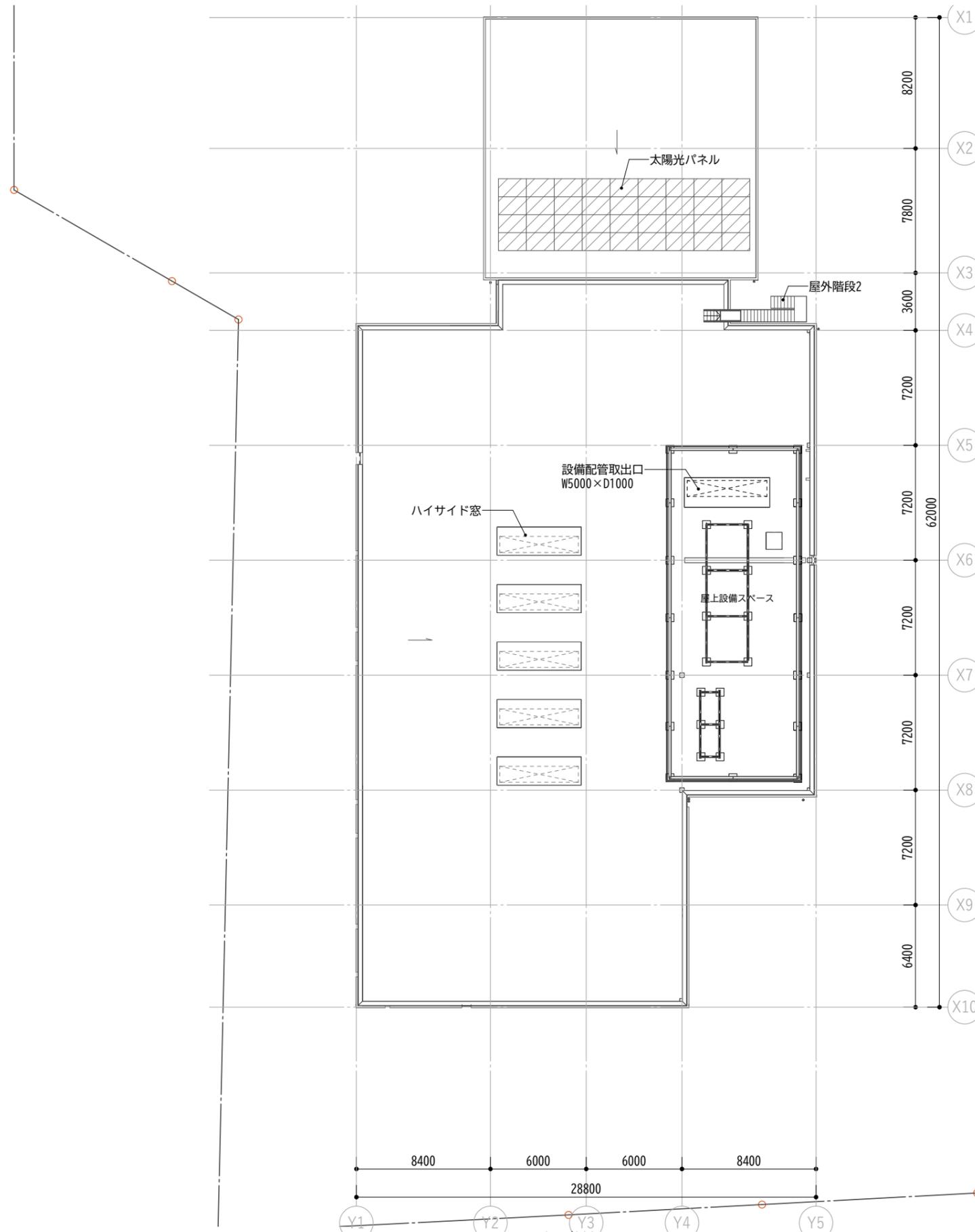
□床面積
 1階 1489.6㎡
 2階 1047.7㎡
 合計 2537.3㎡

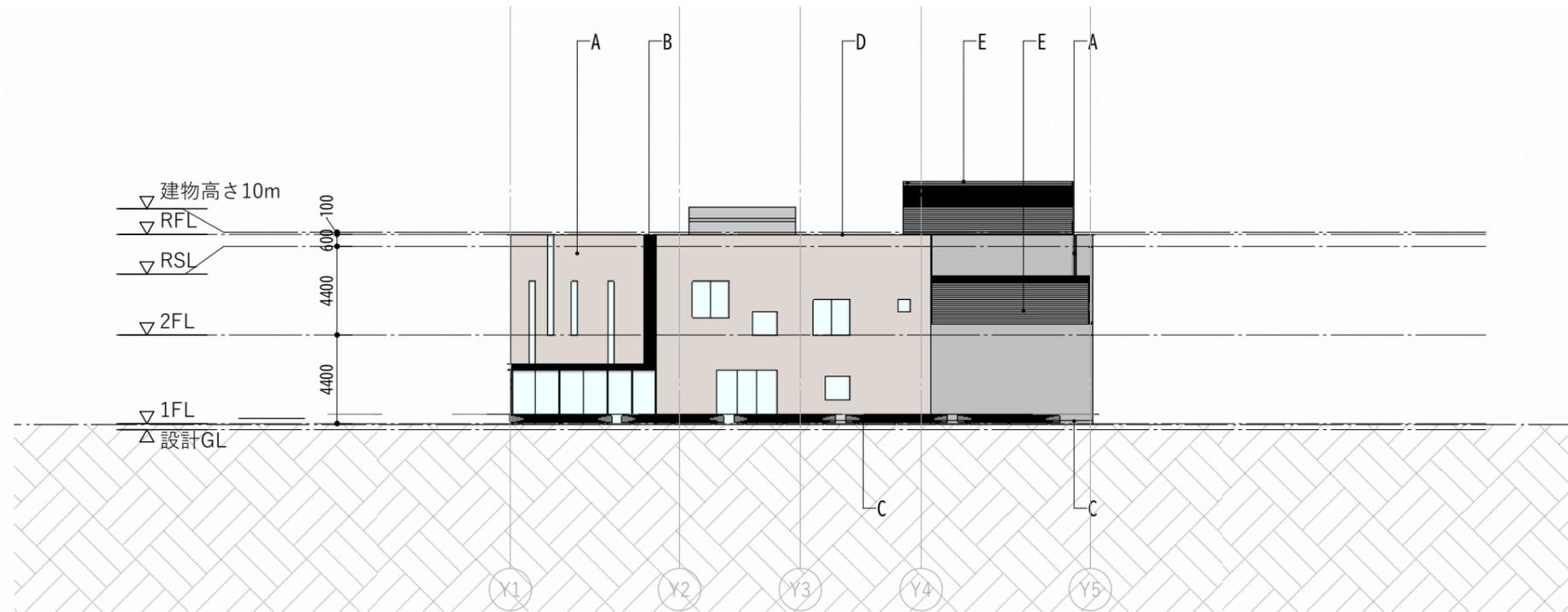
▼2階吹抜けまわりイメージ



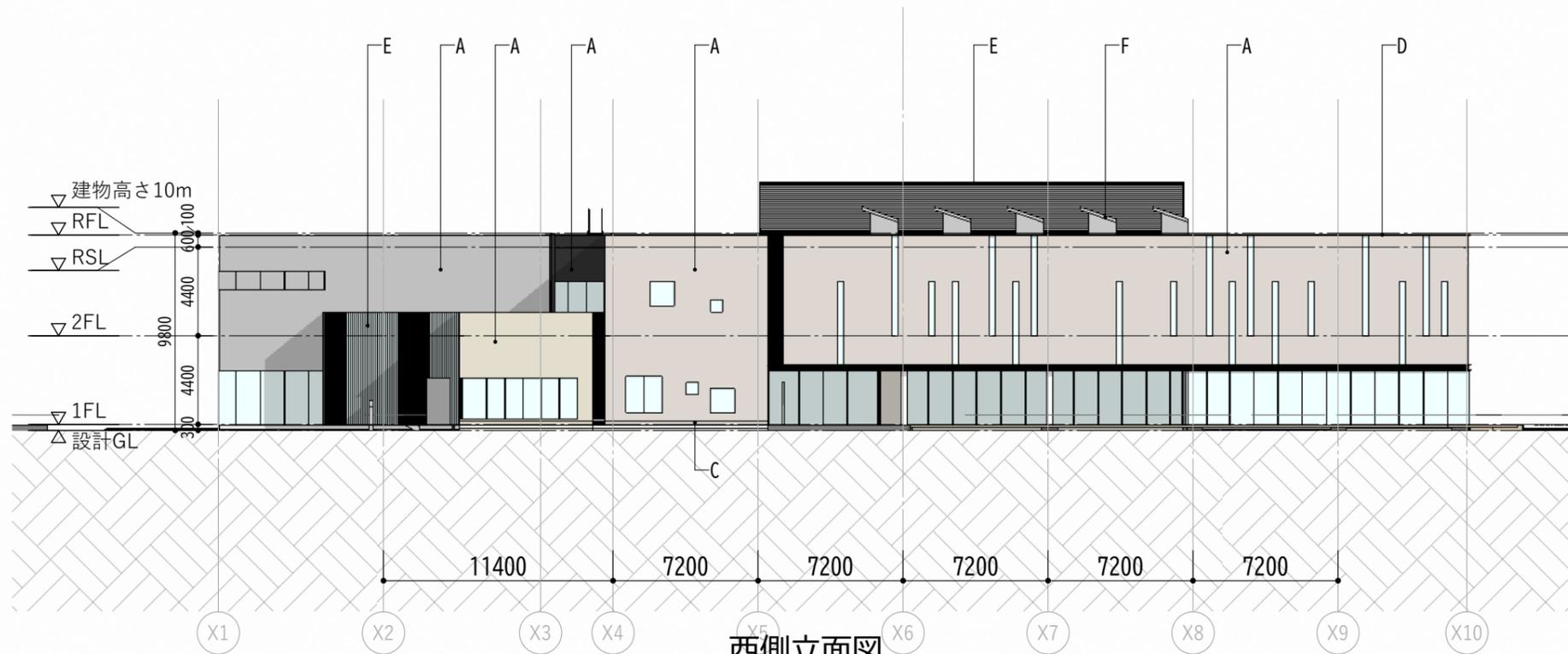
▼ラーニングスペースイメージ





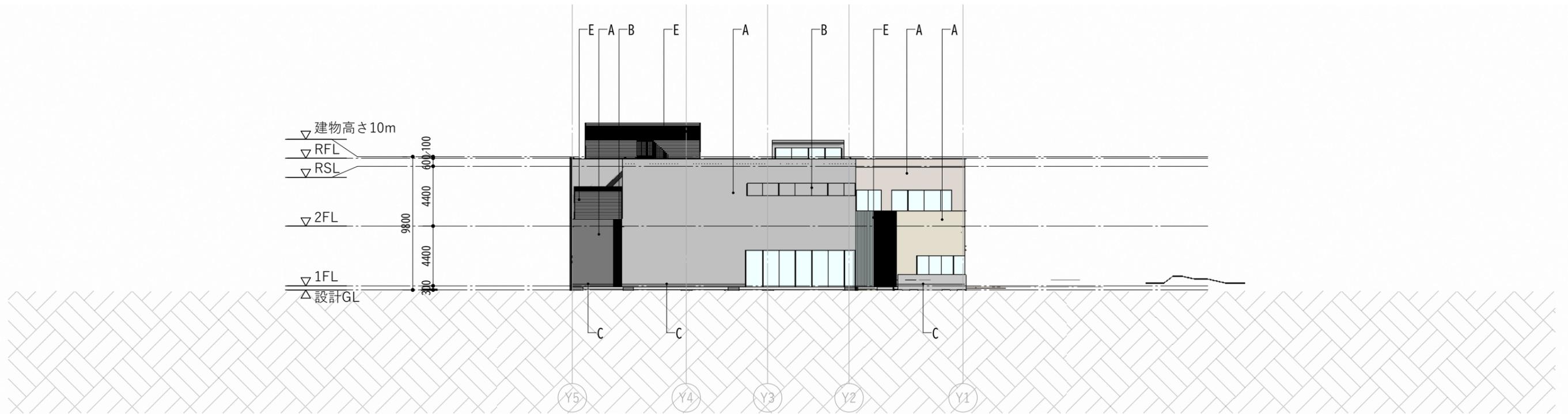


南側立面図

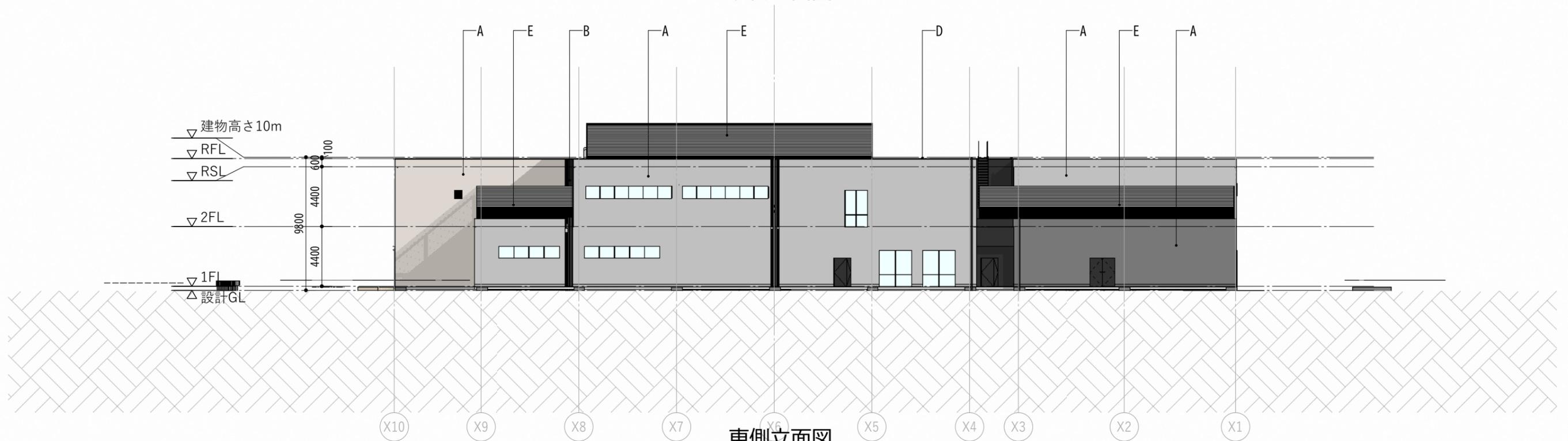


西側立面図

立面仕上凡例	A	ECPパネル 外装材左官調塗装	G				
	B	ガラリ パネル	H				
	C	RC打放し補修の上、左官調塗装	I				
	D	笠木	J				
	E	目隠しアルミルーバー	K				
	F	RC化粧打放しの上、撥水材塗布	L				



北側立面図



東側立面図

立面 仕上 凡例	A	ECPパネル 外装材左官調塗装	G				
	B	ガラリ パネル	H				
	C	RC打放し補修の上、左官調塗装	I				
	D	笠木	J				
	E	目隠しアルミルーバー	K				
	F	RC化粧打放しの上、撥水材塗布	L				

立面計画の考え方

■全体計画

- ・メインアクセスのある1階西側の図書エリア、南西角に位置する交流サロンは、西側庁舎との一体利用、広場との繋がりを考慮し、中まで見渡せる開放性の高いガラス面を多く用い人々が訪れやすい開かれた外観とします。
- ・壁面は施設全体を通して、彩度の低い色彩とし自然豊かな周辺環境との調和を目指します。また、質感のある左官調塗材で仕上げることで、暖かみのある外観とします。
- ・周辺への圧迫感を軽減するため、まちのスケールにあった、壁面スリットによるボリュームの分節、水平ラインを強調し高さを抑えた外観とします。



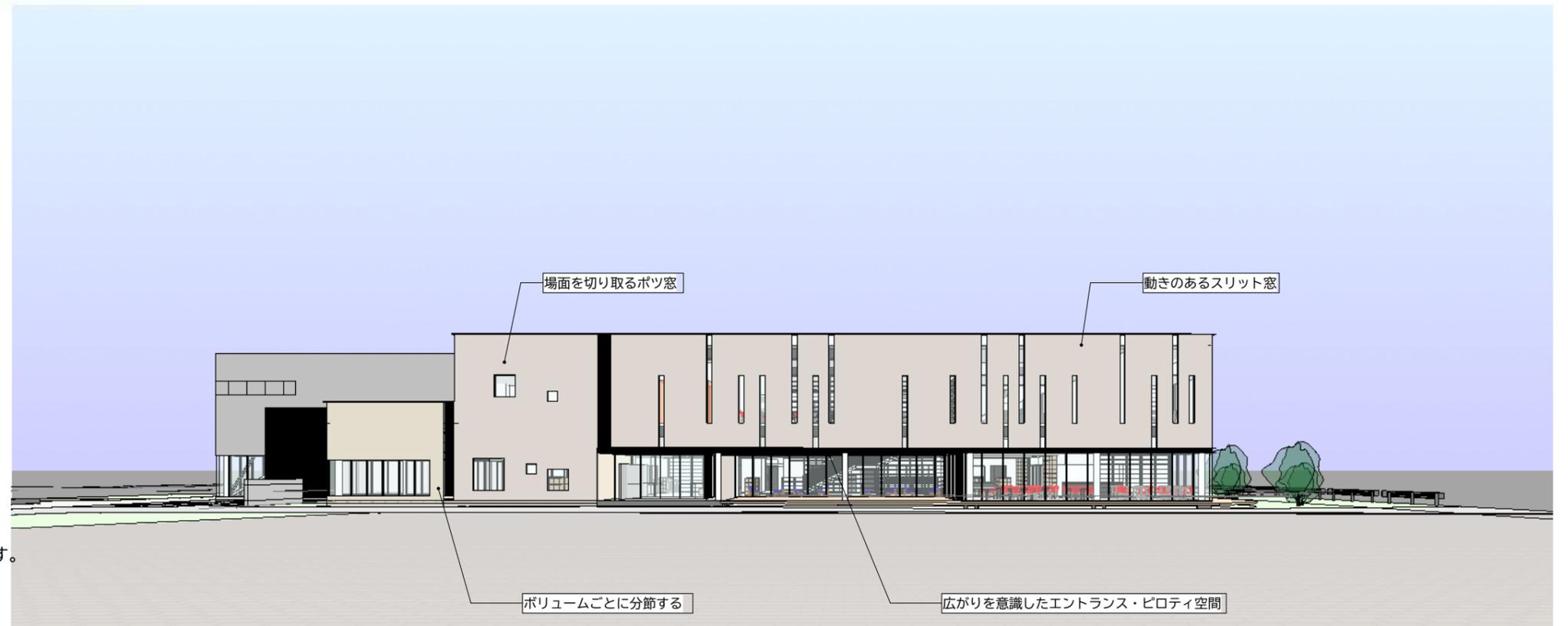
敷地南西からのイメージ

■西日を考慮した外観とにぎわいづくりへの配慮

- ・東西面は、熱負荷の抑制に配慮し壁面の多い立面とします。
- ・必要最低限に設ける開口部をリズムカルに配置し、南北に大きい壁面を分節し、圧迫感を軽減に配慮します。
- ・活動諸室の部分には動きのあるスリット窓や、場面を切り取るポツ窓を用い、活動のにぎわいや豊かさを感じられる外観とします。
- ・開口部が大きくなる交流サロン前には、植栽帯等を設け、日射を軽減します。

■エントランス空間

- ・エントランスのあるピロティ空間は、交流サロンとの一体利用を考慮し、水平性を強調した広がりのあるびやかな空間とします。



総和庁舎側からのイメージ